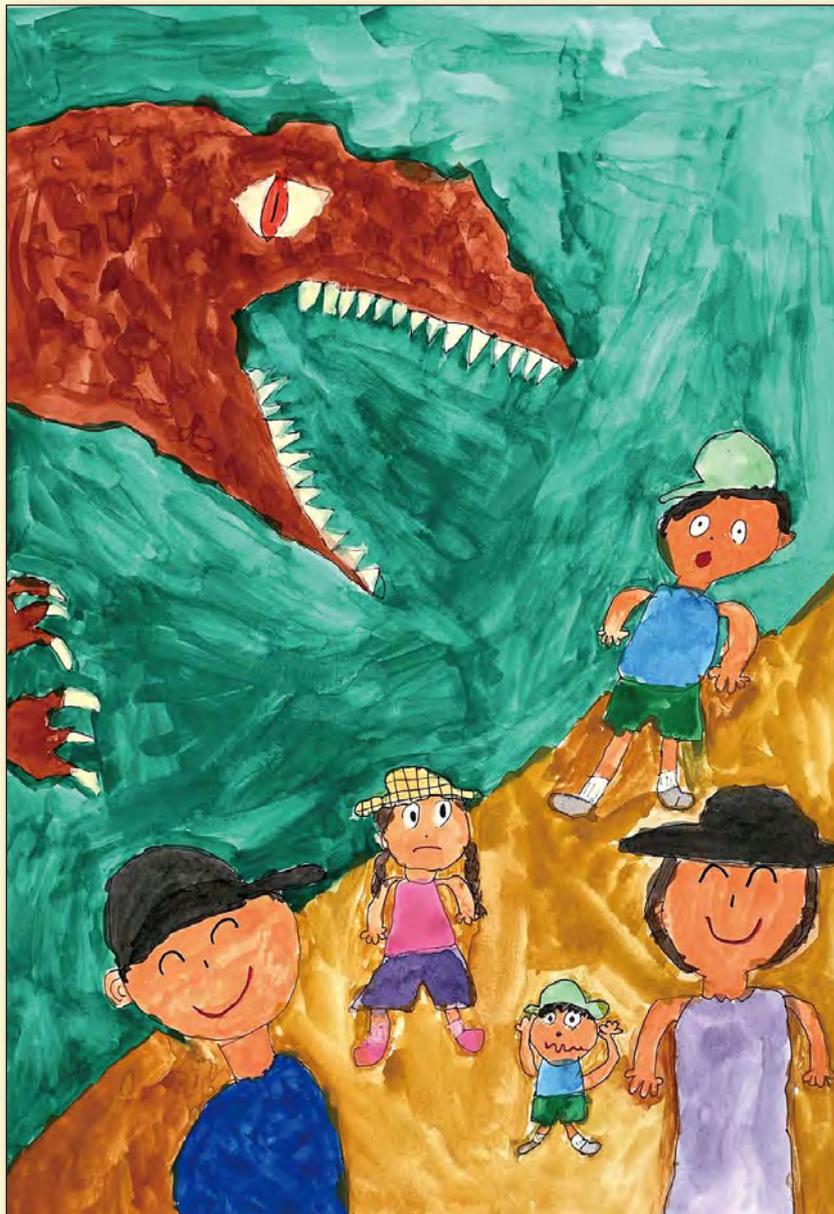


# せとのおさ



令和4年度「家庭の日」に関する図画 特選作品  
「ダイナソーパークに行った思い出をかいた。」 呉市立安登小学校 3年 馬場 杏弥

# 青少年育成の基本指針

(昭和52年6月1日青少年育成広島県民会議制定)

## 前 文

「青少年は日本の希望である」という言葉は、われわれの心を支えている標語である。ところが、青少年の非行が問題になると、明確な実施効果の見定めもつかぬままに、条例や法律の制定に期待の高まるのが実状である。しかし、青少年の非行が大人の生活の反映であるとすれば、青少年の健全育成は、大人の反省なしには実現しないであろう。大人がかつて青少年であったように、青少年はやがて大人になるのである。人間の生涯は、多様な価値観の個性的選択による自己教育の連続であるといえよう。

ここに制定された青少年育成の基本指針は、ただ青少年育成的あり方を抽象的に示したものに過ぎない。それは、各地域の実状に応じて具体化されることが期待される。総括的にいえば、資源の乏しさを克服して、相当高い生活水準に到達している現代日本において、青少年は将来どのような展望をもって進んだらよいか、これが最大の課題である。

われわれは、青少年の前途に幸福の「青い鳥」の夢を託したい。

## 青少年育成の基本指針

### (個人)

一 個性の独自性に対する自覚にもとづき、その価値可能性を錬磨し、生涯教育の基礎をつくる。

### (社会)

一 家庭の愛情にはぐくまれ、社会生活において、友情と連帯の意識を養う。

### (自然)

一 国土の自然を愛護するとともに、地域社会の文化を尊重し、環境の教育的整備につとめる。

### (世界)

一 諸民族の生活と文化を理解し、平和と親善の心をこめて、国際交流に寄与する。

### (総括)

一 日々の生活のなかに、生きがいを求めてわが道を行き、一隅を照らす光となる。



## 目次

- 2 第34回 定時総会
- 7 令和4年度青少年育成県民運動推進大会
- 11 令和4年度「家庭の日」に関する作文・図画  
作文の部 特選(広島県知事賞)  
図画の部 特選(広島県知事賞) 入選(公益社団法人青少年育成広島県民会議会長賞)
- 15 「少年の主張」・中学生話し方大会2022  
(第44回少年の主張広島県大会 第56回中学生話し方広島大会)
- 17 いただきます! ぶちうま継承プロジェクト
- 21 いきいき地域活動紹介  
青少年育成尾道市民会議  
青少年育成安芸太田町民会議
- 23 青少年育成カレッジ 総合講座
- 28 青少年サポーター事業



# 第34回 定時総会

## 第34回定時総会を 広島YMCA国際文化ホールで開催

公益社団法人青少年育成広島県民会議は、令和4年6月17日(金) 13:30～15:30に「第34回定時総会」を広島YMCA国際文化ホールで開催しました。

来賓ご臨席のもと、表彰式を開催し、報告事項、審議事項、総会決議等が採択されました。

また青少年育成指導者である宇治木敏子さんに「子どもの心の絆創膏とは～レジリエンスな生き方・育て方～」と題してご講演いただきました。



あいつ じん  
神出会長あいさつ



ゆさき  
湯崎広島県知事祝辞

## 総会報告

令和3年度事業報告、令和4年度事業計画及び収支予算についての報告、並びに令和3年度決算書、令和3年度監査報告が行われ、承認されました。



【総会議事】



総会決議文朗読  
おの たかし  
一般社団法人広島青年会議所 理事長 大野 貴嗣 様

## 総会決議

次代を担う子供たちが等しく夢と希望を育み、健やかに成長していくことは、私たち全ての願いです。青少年が未来社会の形成者としての自覚を持ち、自立した個人としての役割と責任を果たしていくことは、持続可能な地域社会を形成していく上で必要不可欠でもあります。

青少年育成広島県民会議は、昭和52年に制定した「青少年育成の基本指針」をベースに、行政や関係団体と連携した県民総ぐるみの育成運動を推進し、その時々々の課題に対応した取り組みを行ってきました。

ところが、いじめや虐待、貧困など、子供たちの権利が軽んじられる状況は一向に解消されていません。社会生活を営む上でのさまざまな困難を抱える青少年も多くなってきました。インターネットやスマートフォンの使用による被害が見逃げせないのも現状です。

さらに、コロナ禍において、子供たちの心の健康への影響も指摘されています。

子供は大人の映し鏡です。青少年を取り巻くこのような状況は、現代社会の反映、縮図にほかならず、大人から模範を示していくことが欠かせません。

私たち県民会議は、コロナとしっかりと向き合いながら、人と人とのコミュニケーションの第一歩である「あいさつ・声かけ運動」を基軸に置き、今後も地域の将来を見据えたさまざまな青少年育成事業を積極的に展開していきます。

「青少年育成の基本指針」の前文は、「青少年の前途に幸福の『青い鳥』の夢を託したい」と結んでいます。子供たちが一層大切にされる社会を創るため、県民運動をさらに発展させ、青少年を温かく見守り、支援していくことを、私たちの総意としてここに決議します。

令和4年6月17日

公益社団法人青少年育成広島県民会議第34回総会

## 令和4年度青少年育成広島県民会議表彰

優れた行為のあった青少年・団体や地域で自主的な活動を積極的に続けている青少年育成功労者・団体・企業を、毎年、定時総会で表彰しています。

令和4年度の青少年育成広島県民会議表彰を受賞された皆様をご紹介します。



### 青少年(4人)

たまえ はな 華 (三原市)    もりもと いちか 唯愛 (三原市)    もんでん ゆう 優 (広島市)    よしおか りさ 利紗 (福山市)

### 青少年育成功労者(52人)

いけ 賢治 (広島市)	くぼ 久保田詳三 (広島市)	なかい 中井みどり (広島市)	ふくだ 福田さつき (広島市)
いしちか 石本香穂子 (広島市)	こばやし 小林和志 (福山市)	ながお 長尾浩士 (広島市)	ふじい 藤井浩則 (世羅町)
いとう 伊藤剛 (広島市)	さくま 佐久間義輝 (広島市)	ながしま 長島佐加美 (呉市)	ふじさわ 藤澤幸造 (広島市)
いわた 岩田義夫 (三原市)	ささき 佐々木恵美子 (広島市)	なかもと 中本健治 (広島市)	ますたに 増谷義昭 (広島市)
おおたに 大谷恒司 (広島市)	さとう 佐藤憲司 (尾道市)	の 野田佳裕 (尾道市)	みうら 三浦若奈 (広島市)
おかの 岡野恒二 (尾道市)	しおさき 汐崎文浩 (広島市)	はしづめ 橋爪喜信 (広島市)	みやま 宮崎孝幸 (広島市)
おかの 岡野幹基 (尾道市)	しもぎ 下迫恵美子 (広島市)	たみや 橋本民夫 (呉市)	みやち 宮地敏恵 (尾道市)
おやま 小山久美 (広島市)	たくほ 田窪宏臣 (尾道市)	はたけ 畠中康昭 (大竹市)	みや 三吉功 (広島市)
かじもと 梶本幸子 (広島市)	たなか 田中八重子 (広島市)	はなさき 花崎武敏 (広島市)	むらかみ 村上恭子 (尾道市)
かめもと 亀本修司 (呉市)	てら 寺澤和人 (広島市)	はら 原俊三郎 (呉市)	もとおか 本岡修 (庄原市)
かわぐち 川口隆 (安芸高田市)	どい 土井輝雄 (広島市)	ひだか 日高義久 (広島市)	もりた 森田和枝 (広島市)
かわちか 川近幸司 (三次市)	ともい 友井輝道 (呉市)	ひらぎ 平賀敏恵 (東広島市)	もりもと 森本直樹 (広島市)
きむら 木村斉明 (坂町)	なか 中英雄 (北広島町)	ひろなか 広中利次 (広島市)	わか 脇孝治 (広島市)

※中本健治様は令和4年4月9日にご逝去されましたので、同日付けて表彰いたします。

### 青少年育成功労団体(2団体)

せら 世羅郡少年補導協会員連絡協議会 (世羅町)    たか 高屋町青少年育成連絡協議会 (東広島市)

### 模範活動団体(4団体)

あ と 阿戸空手道スポーツ少年団 (広島市)    だんばら 段原なきなたスポーツ少年団 (広島市)

くれし 呉市立宮原中学校生徒会 (呉市)    ひよし 日吉子ども神楽団 (安芸高田市)

(50音順、敬称略)

# 21世紀を生き抜く折れにくい心 「レジリエンス」な生き方・育て方

青少年育成指導者 宇治木 敏子さん



## 〈プロフィール〉

1958(昭和33)年生まれ、広島県在住。広島大学文学部人文学科インド哲学専攻。1997年、1999年、2001年インドでストレスマネジメント研修。インド政府認定ヨーガ教師・アーユルヴェーダパンチャカルマセラピストの資格を取得し、30年以上のヨーガ研究と指導実績をもち、企業、公共団体などストレスマネジメント講師、メンタルヘルスカウンセラーとして活躍中。1992年より、いじめ、不登校、引きこもり等の社会課題をテーマに活動を始め、1995年から青少年のフリースペースの代表を務めた。不登校、自傷行為など、子どもたちの心の問題に向き合った経験から、乳幼児期の心のケアの重要性に気づき、1999年から乳幼児期の心のケアに活動分野をシフトした。現在は、乳幼児虐待予防活動、親への支援、そして子どものレジリエンス力を育む活動に取り組んでいる。NPO法人日本タッチ・コミュニケーション協会理事長

## 【不登校問題等への出会いと関わり】

1990年代、私は2人の子どもの母親として、いじめ、不登校、引きこもりなど、子どもに関わる社会課題について興味を持ち、地域の活動に参加していました。

以下のグラフは不登校の子どもの割合の推移表ですが、横軸は1991年から表されています。(文部科学省HPより)

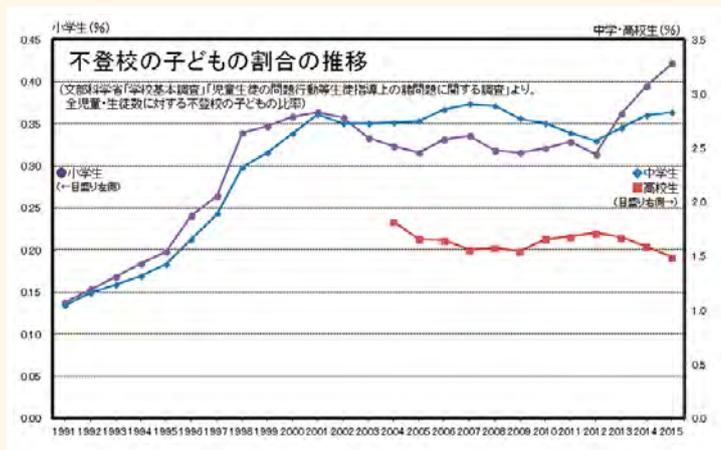
当時は、「学校に行けない子どもが出現した」「なぜ登校拒否に？」など衝撃的なニュースとして取り上げられていました。子どもの居場所づくりが早急に求められるなか、地域で「子どもフリースペース」を開設することとなり、私はその活動に参加しました。

親も周辺も「どうして学校に行けなく(行かなく)なったのか」を理解しようと、居場所づくりと平行して、子どもの心理に詳しい専門家を講師に定期的に勉強会も開催しました。

「子どもフリースペース」が最も重点をおいていたのは、子どもの視点で考え、子どもの心に寄り添い、子どもの心と命を守る「子ども支援」でした。

そこで出会った子ども達は、親の求める理想に近づきたいという気持ちと、自分自身の心のギャップに苦しんでいるようにみえました。一方、親は、自分のフレームの中で子どもを理解しようと必死でした。どうすれば子どもを学校という集団に戻せるのか問い続け、時には自分を責め、疲れ果てているようでした。

周りでは、摂食障害、うつ病などで入退院を繰り返す子ども達もいましたし、通信教育、フリースクールなどに



チャレンジしては挫折する子ども達もいました。そして何人かは摂食障害で亡くなり、自死した子どももいました。また、母親を金属バットで死に至らしめた青年もいました。

私は、3年間リースペースの代表を務めました。親と子双方が、心の深部で求め合っているにもかかわらず、どこかでボタンの掛け違いが起こっていて、それをどうすればかけ直すことができるのか、とても難しい問題でした。

### 【生きる意欲とストレス耐性】

私はライフワークとしてストレスマネジメントの講師をしていましたが、1997年初めて本場インドで学ぶ機会を得ました。

インドに到着して最初に私の目に入ってきたのは、子ども達のキラキラした目の輝きでした。生きる意欲がみなぎっている子ども達の目の鋭さに私は驚きました。

私がリースペースで関わっていた子ども達、自死を選んだ子ども達が見失っていた「生きる意欲」がそこにはありました。

彼らは、劣悪な環境の中であっても、「どんなことをしても生き延びるぞ!」という強い意欲をもってエネルギーに生きてるようにみえました。私は、そのエネルギー源に興味を湧きました。

そこで、研修先のホスピタルで、私の感じたことを率直に女医に訊ねてみました。

すると彼女は、驚く様子もなく当然のように「ベビーマッサージ」とひと言。赤ちゃんが生まれたら、18ヶ月間祖母か母が毎日「ベビーマッサージ」を行うというのです。

実際目にしてみると、「ベビーマッサージ」は赤ちゃんの全身を、撫でるというよりも皮膚に刺激を与えるように、時々パタパタ叩きながら、ハードなストロークを与えていました。

そして、最後に赤ちゃんの頭から、バケツで水を浴びせ、それを赤ちゃんは泣くこともなく、キャツキャツと笑って喜んでいたので。私は、赤ちゃんのストレス耐性に驚きました。

女医は、皮膚に刺激(ストレス)を与えることは、自律神経の強化につながると話していました。

当時、日本では「ベビーマッサージ」という言葉さえ知られていなかったのも、それを学ぶ機会を得られたことは、私にとって大変幸運なことでした。

私が3度目のインド研修を終えた2001年から、院内セミナーを行っていた産婦人科の協力を得て、医師等と「ベビーマッサージ」研究を本格的にスタートすることになりました。

子どもへのリラクゼーション効果、就寝促進効果、発達促進効果等は、目に見えて明らかでしたし、子どもへの効果はアメリカやイギリスに先行研究が多数ありました。

しかし、私は研究を始めて直ぐに、「ベビーマッサージ」を行う前後で、母親の表情が大きく変化することに着眼し、「ベビーマッサージ」の前後でストレス度の変化を測定しました。

すると、「ベビーマッサージ」を行なった後は、母親のストレス度が下がり、育児疲労、育児不安も改善し、さらに子どもを慈しむ気持ちが高まっていることが検証できました。

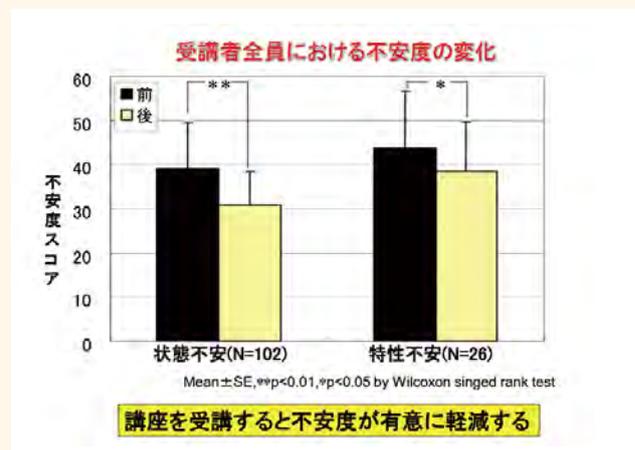
### 研究方法

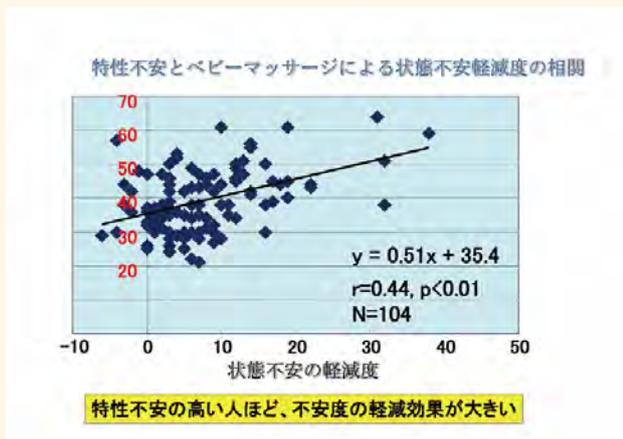
**被験者:**  
広島市内のM産婦人科で分娩された母児120組を対象  
文書による説明と同意を取得  
ベビーマッサージの講習と、受講前後での諸検査を調査した。

**検査項目:**  
①家族状況  
②ベビーマッサージ前後での母児の変化の質問表  
③STAI(不安度検査)

**解析:** 度数をグラフ化

開始前の特性不安度と不安軽減度との相関関係についても、Spearmanの相関係数を求めた。(有意水準  $p < 0.05$ )





この取り組みが日本で普及できれば、親への支援と子どもへの支援が両立でき、さらにストレス耐性の高い次世代育成にも貢献でき、また、当時急増していた育児不安を要因とした乳幼児虐待の予防にも効果が期待できると考え、2003年にNPO法人を立ち上げました。

### 【折れにくい心「レジリエンス」を育む】

「レジリエンス」とは、たとえ逆境の中にあっても生き延びる力と訳されますが、この心の力はコミュニケーション能力に支えられています。

「レジリエンス」という概念が注目され始めたのは、1970年代、第2次世界大戦のホロコーストを経験した孤児達の研究がきっかけの一つとなったといわれています。

その研究から、「レジリエンス」の高さは、乳幼児期の養育のされ方と関連があることが分かりました。

それは、「レジリエンス」を支えるコミュニケーションの基盤となる自己肯定感(自尊心・自己効力感)が、乳幼児期の非言語交流(アイコンタクト、スキンシップ、あやす等)によって育まれるからです。

乳児は、抱っこされ、おっぱいを飲み、しっかりと安心を得ながら、母子一体感を味わい、その絆(基本的信頼感)を基に、母子分離の準備を始めます。

乳幼児は、ある程度成長すると外の世界に興味をもち、適度な探索を行っては、母親のもとへ戻ってくるような行動を繰り返すようになります。これを「安全基地」現象と呼びます。

子どもが、心の課題を乗り越えるためには、この心の「安全基地」が必要です。心の「安全基地」は承認欲求を満たしてくれるアタッチメント(情緒的絆)、スキンシップが重要な鍵となります。そして、この「安全基地」は、大人になっても生涯を通して心を回復させる大切なレジリエンスの基盤となるのです。

今は、小学校からレジリエンス教育が始まっていますが、実は、乳幼児期から始めるのが、最も効率的なのです。

私は、出産後できるだけ早く、できれば産前からこのような情報とスキル(マインド)を伝えていきたいと考えて、産婦人科などで20年以上セミナー活動をしてきました。その頃、赤ちゃんだった子ども達も今は大学生となり、親からは彼らのコミュニケーション能力が非常に高いと報告を受けています。

しかし、今の日本の育児は、ネット情報に偏っていて、子どもの心の発達段階に応じた関わり方を体験的に学ぶ場(機会)が社会的に構造化されていないのです。私は、そこが問題だと考えています。

男性の育休の意識が高まりつつある今、男女共に誰もがレジリエンスな子育てについて学ぶ機会が得られ、そしてそれを子どもに実践することができるように社会的な支援が急務だと思います。

育休中にセミナーを受けられた受講者からは、「子育てのセミナーだと思って参加したのに、復帰後、職場で大変役立っている」「子どもとのスキンシップを通して、自身の人間関係性機能が高まったと感じている」などの報告もありました。

育休中にレジリエンスな子育てを学ぶことは、職場にとってもレジリエンスな人材育成に繋がることが期待できると思います。ぜひ、職場・社会全体の新たな人材育成の取組みとして取り入れていただきたいです。

# 令和4年度 青少年育成県民運動推進大会

令和4年度青少年育成県民運動推進大会  
 主催：公益社団法人青少年育成広島県民会議

令和4年10月29日(土)、広島県民文化センター多目的ホールにおいて、  
 青少年育成県民運動推進大会を開催しました。



## 大会次第

### 【開会】

- ◎国歌斉唱
- ◎開会あいさつ  
 (公社) 青少年育成広島県民会議会長
- ◎来賓祝辞  
 広島県知事  
 広島県議会議長
- ◎表彰  
 青少年健全育成成功労者等知事表彰  
 「家庭の日」に関する作品の知事表彰

### 【少年の主張意見発表】

- 第43回少年の主張広島県大会知事賞受賞
- 第43回少年の主張全国大会国立青少年教育振興機構奨励賞受賞
- 「認め合うことの本质」  
 広島市立基町高等学校1年 三好 百恵 さん

### 【青少年活動発表】

- 大草神楽子ども研究クラブ  
 演目 「八重垣」

### 【講演会】

- 演題 「今、ふるさとの自然を体験するということ」
- 講師 浦田 愛 さん  
 (NPO法人ほしはら山のがっこう副理事長・  
 NPO法人環境パートナーひろしま副理事長)

### 【閉会】

- ◎閉会あいさつ  
 (公社) 青少年育成広島県民会議副会長



神出会長あいさつ



環境県民局長  
 新宅 郁子 様



県議会文教委員会委員長  
 狭戸尾 浩 様

式典では、主催者を代表して、(公社) 青少年育成広島県民会議 神出 亨会長が開会のあいさつをしました。

続いて、来賓の広島県知事代理の環境県民局長 新宅 郁子様、広島県議会議長代理 県議会文教委員会委員長 狭戸尾浩様からご祝辞をいただきました。

次に広島県知事表彰として、永年にわたり青少年の健全育成に力を尽くした方々や団体、模範的な活動を行っている団体を表彰しました。また、県内の小・中学生から応募があった「家庭の日」に関する作文・図画の特選に選ばれた4人に知事賞を授与しました。

終わりに、(公社) 青少年育成広島県民会議の江種則貴副会長が開会のあいさつを行い、すべてのプログラムが無事に終了しました。



江種副会長  
 閉会あいさつ

大会の様子は  
 こちらから



## 令和4年度青少年健全育成功労者等知事表彰受賞者

### (青少年健全育成功労者24人)

いけもと まさよし 池本 正良(東広島市)	いのほら せつこ 猪原 節子(広島市)	えのま だいすけ 榎 大介(呉市)	おきなが せつこ 沖永 節子(広島市)	かきうち こうせい 垣内 孝正(広島市)
かわぐち たかし 川口 孝俊(広島市)	くりひさ くまお 栗久 熊雄(広島市)	こうの てるこ 河野 照子(広島市)	さか たかよし 坂 孝好(呉市)	さかむら ちさえ 坂村ちさえ(広島市)
さくらぶ こ 櫻武すみ子(尾道市)	しもえ まさし 下江 正志(広島市)	せんざき いちろう 千崎 一郎(三次市)	なかおか ひろみ 中岡 博美(呉市)	なかせ まさこ 中瀬 雅子(広島市)
なかむら みどり 中村みどり(広島市)	ほらだ いさむ 原田 勇(尾道市)	むかい ゆうじ 向井 祐治(尾道市)	むらかみ えみこ 村上恵美子(東広島市)	むらかみ まさはる 村上 雅春(広島市)
やない みつお 柳井美津夫(海田町)	やまさき とみこ 山崎 知子(広島市)	やまね しょうぞう 山根 昌三(広島市)	やまもと きよか 山本 清香(広島市)	

### (育成功労団体2団体)

さか が しょうかい 坂雅正会(坂町)      みどり い じゅうゆうかい 緑井柔友会スポーツ少年団(広島市)

### (模範青少年1人)

もり た ゆう 森田 優(広島市)



## 令和4年度「家庭の日」に関する作品の知事賞受賞者

### (作文の部)

特選 東広島市立板城西小学校1年 にしわき いぶき 西脇 芽吹  
特選 広島市立彩が丘小学校6年 あさへ おとぎ 浅邊 乙稀  
特選 福山市立新市中央中学校3年 かしはら ゆづき 柏原 優月

### (図画の部)

特選 呉市立安登小学校3年 ばば いちや 馬場 壹弥



(50音順、敬称略)

## 青少年活動発表

### 演 目「八重垣」 や え が き

大草神楽子ども研究クラブ 出演児童生徒数 / 11人

#### プロフィール

昭和53年に、旧大草小学校の学習発表会で5・6年生が神楽を舞ったのをきっかけに発足し、地元神楽保存会の指導のもと、小学生を中心に活動を続けて参りました。4年前の西日本豪雨災害により稽古場であり、道具や衣装の保管場所である大草公民館も床上浸水し、ほとんど水損しました。存続も危ぶまれましたが、地元の方をはじめ、全国の方々からのご寄付をいただき、復活公演を行うことができました。年々団員数も減少しさみしくなってきた中で、郷土に伝わる神楽を正しく継承し、皆様に喜んでいただけるよう頑張っています。



## 少年の主張意見発表

第43回少年の主張広島県大会県知事賞受賞・第43回少年の主張全国大会国立青少年教育振興機構奨励賞受賞

### 「認め合うことの本质」

広島市立基町高等学校1年 <sup>みよしちちえ</sup> 三好百恵 さん

※受賞時は、東広島市立志和中学校3年

昨年開催した「少年の主張」・中学生話し方大会2021において広島県知事賞を受賞した広島市立基町高等学校1年三好百恵さんが世の中の差別や偏見について、その思いを発表しました。



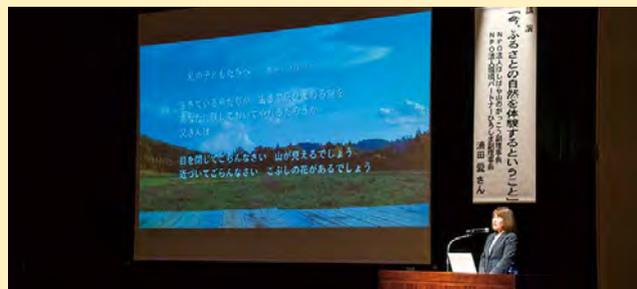
## 講演会

### 講演会「今、ふるさとの自然を体験するということ」

講師 <sup>うらた あい</sup> 浦田 愛 さん(NPO法人ほしはら山のがっこう副理事長・NPO法人環境パートナーひろしま副理事長)

#### プロフィール

福岡市出身、三次市在住。子ども時代から自然と子どもと歌が好き。子ども時代のガールスカウトやジュニアリーダーが野外教育や市民参加型の地域づくりの原点。大学では児童教育を学ぶ。農村に惹かれ移住後、農家に嫁ぐ。自然とつながって生きる「ふるさと」の人々や教育力、居場所機能に魅了され、2003年廃校をきっかけに地域ぐるみで「ほしはら山のがっこう」を開校。交流宿泊施設の運営、「ふるさと自然体験塾」「夏休み7泊8日キャンプ」など体験事業を担当。交流とネットワークによるふるさと地域づくり・人づくりに取り組んでいる。



#### 後援

広島県 / 広島県教育委員会 / 広島県警察 / 広島市 / 広島市教育委員会 / 広島市青少年健全育成連絡協議会 / 広島県PTA連合会 / 広島市PTA協議会 / 広島県高等学校PTA連合会 / 広島県地域女性団体連絡協議会 / 広島市地域女性団体連絡協議会 / 広島県少年補導員連絡協議会連合会 / (一社) 広島青年会議所 / (一社) 広島県子ども会連合会 / 広島市子ども会連合会 / 広島県少年補導センター連絡協議会 / 広島県保護司会連合会 / 広島県更生保護女性連盟 / 広島県民生委員児童委員協議会 / 広島市民生委員児童委員協議会 / 中国新聞社 / NHK広島放送局 / 中国放送 / 広島テレビ / 広島ホームテレビ / テレビ新広島 / 広島エフエム放送 (順不同)

# 明るい家庭の日運動

令和4年度  
「家庭の日」  
に関する  
作文・図画

健全で明るい家庭は、家族みんなで話し合い、家族みんなで楽しみ合い、家族みんなで力を出し合うことによって築かれます。

青少年育成広島県民会議では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として定め、明るい家庭づくりの運動を展開しています。

この運動が広く地域に浸透し、多くの家庭で実践されることを願って、県内の小・中学生を対象に募集を行い、県内の小学校50校、中学校38校から作文・図画を合わせて1,802作品の応募がありました。

これらの作品は、日常生活において家族と自分とのかかわり方で感動したこと、家族に感謝している心や存在の大切さなど、自分の気持ちを素直に純粋に表現しています。

審査の結果、特選作文3作品、特選図画1作品、入選作文21作品、入選図画5作品が選ばれました。

## 令和4年度「家庭の日」に関する作文・図画入賞作品 入賞者

### 作文の部

#### ●特選(広島県知事賞)

東広島市立板城西小学校	1年	西脇 芽吹	「おかえりのぎゅっ」
広島市立彩が丘小学校	6年	浅邊 稀	「笑顔っていいねえ」
福山市立新市中央中学校	3年	柏原 優月	「私だけの「ドライブ・マイ・カー」」

#### ●入選(公益社団法人青少年育成広島県民会議会長賞)

東広島市立小谷小学校	1年	嵐 誠	「あらしまつりにきてみんなさい」
三原市立糸崎小学校	3年	安保 善絆	「ぼくとかめこの93日」
広島市立大河小学校	4年	天野 舞弥	「これはトンカチです。いや、恋文です。」
竹原市立竹原西小学校	5年	住吉 晟垂	「ぼくの家族と今年の夏休み」
広島市立口田東小学校	6年	東城 優姫	「父と夏休み」
廿日市市立廿日市中学校	1年	竹迫 楓	「我が家の川の字」
廿日市市立四季が丘中学校	1年	知久 千瑛	「家族の形」
三原市立宮浦中学校	1年	中島 杏	「感謝」
尾道市立美木中学校	1年	島中 翔	「祖父との思い出」
広島市立江波中学校	1年	藤井 美琴	「母の笑顔」
庄原市立庄原中学校	1年	松本 乙華	「弟の力」
廿日市市立廿日市中学校	2年	大澤 薫	「家族でつくる特別な日」
東広島市立松賀中学校	2年	木谷 優月	「家族みんなでつかった全国大会」
広島市立可部中学校	2年	白本 春乃	「自宅待機」
三原市立宮浦中学校	2年	砂田 あかね	「我が家のルール」
三次市立塩町中学校	2年	福田 泰子	「伝えたい思い」
広島市立五日市中学校	2年	山内 希珠	「過保護の説明書」
尾道市立美木中学校	3年	金藤 眞想	「家族から」
呉市立横路中学校	3年	重本 実理	「笑う我が家には4人いる」
東広島市立松賀中学校	3年	白野 若葉	「当たり前感謝はない」
三原市立大和中学校	3年	近廣 音羽	「祖母から教えてもらったこと」

### 図画の部

#### ●特選(広島県知事賞)

呉市立安登小学校	3年	馬場 竜弥	「ダイナソーパークに行った思い出をかいた。」
----------	----	-------	------------------------

#### ●入選(公益社団法人青少年育成広島県民会議会長賞)

福山市立御幸小学校	1年	森下 珠妃	「山村留学しているお兄ちゃんとの再会。」
福山市立春日小学校	3年	宇田 百花	「家族で見た花火がきれいで楽しかった。」
尾道市立御調西小学校	3年	佐藤 成将	「水が流れる様子を、色を重ねて表現している。」
広島市立己斐東小学校	5年	久保 惟生	「おうちで楽しく親子のピアノ・アンサンブル」
広島県立広島中学校	3年	餅川 芭奈	「カメラの中の私たちを懐かしんで描いた。」

特選

## おかえりのぎゅっ

東広島市立板城西小学校 1年 <sup>にしわき</sup>西脇 <sup>いぶき</sup>芽吹

「おかえりなさい」とがっこうからげこうすると、おかあさんがわたしをだきしめてくれます。わたしはこのじかんがだいすきです。あさはやくおもたいランドセルをせおってがっこうにいて、ベンきょうをしたり、たいいくでがっこうのグラウンドをはしりまわったり、あせをかきながら、がっこうのおはなにおみずをあげたりするととてもつかれます。つかれたころには、またあさよりも、おもたくなつたランドセルをせおって、あついなかちいきのおともだちとがっこうからいえまでげこうします。

わたしはまだいちねんせいであさいいのでおもたいランドセルをせおうとフラフラしてしまいます。わたしがいえにちかづくときはおかあさんは、ベランダやげんかんのそとにたっていてわたしがいえにかえってくるのをみにきてくれます。おかあさんがみえるとわたしは、うれしくなってすこしはやあしになってしまいます。

「おかえりきょうもあつかったね。きょうもがんばったね。」とっておかあさんはあせでびしょびしょのわたしをだきしめてくれます。ほんとうはとてもつかれているのに、おかあさんにおかえりのぎゅっをされたときは、なぜかつかれたきもちがなくなってころがあつたかくなります。うれしくなって、わたしはいつもわらってしまいます。きょうも「ぎゅっ」とされてうれしいからです。

わたしがおおきくなくても、おかあさんにおかえりの「ぎゅっ」をされたいとおもいます。

おかあさんいつまでも、わたしをだきしめて「ぎゅっ」してね。

特選

## 笑顔っていいねえ

広島市立彩が丘小学校 6年 <sup>あさへ</sup>浅邊 <sup>おとぎ</sup>乙稀

僕が思う「家族にとって一番大事な事」は「笑顔」だ。おこる声や、顔は、気持ちを重くさせる。悲しい事、つらい事も、無い方が良く。家族が笑顔で、楽しい会話をしていると、家の中は明るくて、また自然に笑顔が増える。

僕の家の中で、この明るい空気を一番に作ってくれるのは、いつもお父さんとお母さんだ。時にお父さんは休みの日はもちろん、平日は、仕事から帰ってつかれていても、ふざけた言葉を言っは、お母さんにおこられる。でも「おこる」と言っは、顔はおこつてない。言葉のかけあいが、まん才のように聞こえる。僕は、お笑いが好きで、まん才やコントをよく観るけど、まさにそんな感じだ。いつも僕は笑いが止まらなくなる。

お盆に、車で移動している間に起こつた事。となりから、ビュンビュン抜かしていく車がいた。「こわいな・・・」、と僕は心配だつたけど、前からお父さんの声が聞こえてきた。

「あれはサービスエリアのトイレに行きたいけえ、急いどるんじやな。」つて。

「じゃあしょうがないわ・・・」

とすかさず笑つたお母さんの声。僕は思わず、ふき出してしまった。

「そう考えたらそんな車にもイライラせんじやろ?」

つてお父さんが僕に聞いてきた。トイレに行きたいからつて、何台も何台もスピードあげて走つていくわけがない。だけどそういう風にじょうだんに変えてくれると、車の中の雰囲気も一気にあつたかくなって、いやな気持ちがなくなる。

「お父さんのユーモアつてすごいな」

つて思った。あの声のかけ合いだけで、僕はずっと笑つていられたし、明るい気持ちになつたから。

「お父さんの、この面白さはどこから生まれてくるのかな。」

そう考えた時、庄原にいるおじいちゃんとおばあちゃんが、思いうかんだ。おじいちゃんとおばあちゃんも、いつもこんな感じ。

「理由を作つて、どうしてもタバコをやめないおじいちゃん」と「いろんな手を使つて、何とかタバコをやめさせようとするおばあちゃん。」僕達が庄原へ遊びに行くたびに、いつも二人は、この楽しい言い合いをしている。まるでボケとツッコミ。やっぱりまん才だ。

そんな、おじいちゃんおばあちゃんの中で育つたお父さんだから、おもしろいんだ。おもしろいお父さんのおかげで僕は毎日いつの間にか笑顔になつている。そんな僕の家はいつもオレンジ色。オレンジ色は元気で明るい色。僕は、毎日笑顔でいられるオレンジ色の家族が大好きです。僕はお父さんの子ども。笑顔にする役目がきつとあると思う。だから、もっと僕も、お笑いのセンスをみがいていかなくちや。みんなを笑顔にする事、それが僕の目標です。

私の父は、元陸上選手です。高校、大学と陸上に打ちこみ、成績を残してきた父は、私の憧れで目標です。だから私は小学生のうちから決めていた陸上部に、中学生になって入部しました。

それから一年経ち、先生方の指導のお陰で県大会に出場できるようになりました。練習や大会の送迎はいつも父がしてくれます。練習帰りの車の中で、

「おつかれさま。頑張ったね。今日はめっちゃ足あがったじゃん! ○○ちゃんぬかしてなかった?」

と父は、その日の私の走りについてコメントをくれます。練習がどうだったかなんて、私からは恥ずかしくて言い出せないけれど、父の一言で自分の成長を感じ、自信が持てます。だけど父は必ず、父親として誉めた後は陸上経験者としてアドバイスをします。その中には、自分で分かっていることもあります。私がまだ気づいていないこともあります。新しいことが知れることで視野が広がり頭の中の棚の引き出しが多くなります。父の「父親として」と「経験者として」の二面からのアメとムチは的確で、私は父のことをとても信頼していました。

しかし、県大会に出場して、私は父に疑問を持つようになりました。きっかけは、県大会へ出場する周りの子は大半が小学生の頃から陸上をしていると気付いたことでした。それに気づいた時、私はどうして父は私に陸上を習わせなかったのだろうと不思議に思ったのです。スポーツニュースでは親族が元スポーツ選手で、幼い頃からスポーツをしてきた人の記事をよく見ます。なのにどうして父は「やってみん?」の一言もなかったのか。父は私に興味がないんじゃないか。一人で考えれば考えるほど思いつめてしまって、父は私のことが好きではないんじゃないかと父を疑うようになりました。疑ってしまうけれどそうではないと思いたかった私は、大会の帰りの車の中で単刀直入に、

「どうしてお父さんは自分が選手だったのに私にやらせなかったん?」

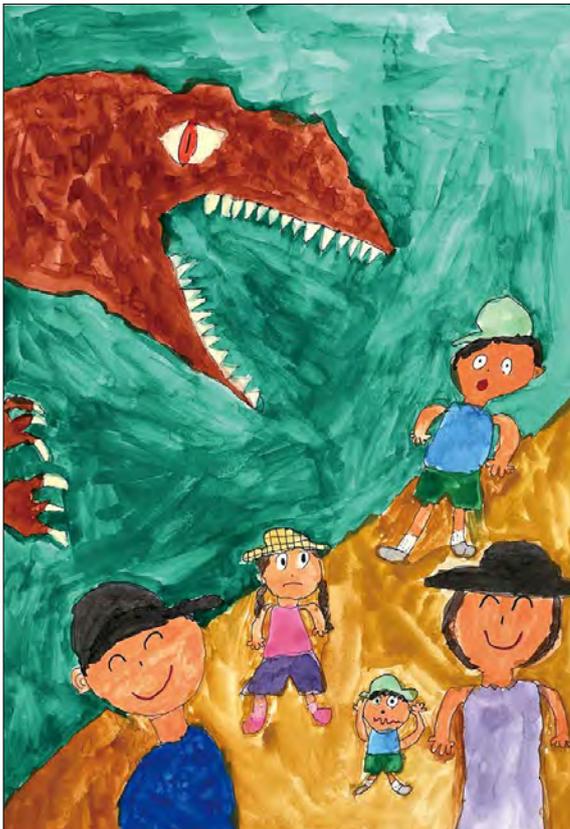
と聞いてみました。どんな言葉が返ってくるのか怖かったし、私が今日聞いたことでもっと気まずくならないか、不安でした。返ってきたのは「本人がやりたいと思うことをやって欲しいけえ」でした。

「じゃけえ別に陸上じゃなくてもテニスとかバスケとか、優月がやりたいと思うものならいいんよ。無理にやっても楽しくないじゃろ?父さんは陸上が楽しかったけえ陸上やったけどな!」

父の言葉がゆっくりと、ジワジワと頭に入ってきました。言葉が落ちてくる度によかったと思うと同時に、父がそこまで考えてくれていたことに驚きました。私に興味がなく放っておかれていたと思っていたのに。父は私の人生を見据え、私を一人の人として育ててくれているんだと感じました。

今、私は父の「やりたいことをやる」を大切にしています。やる気がなくなった時、なぜやっているのか思い出せば自然と良い方向へ進めます。

何でも「楽しい」と思えるようになったのは、たくさんの思い出を乗せた車の中での、一瞬の出来事からです。



呉市立安登小学校 3年

ばば いちや  
馬場 壱弥

ダイナソーパークに行った  
思い出をかいた。



福山市立御幸小学校  
1年 森下 珠妃  
山村留学している  
お兄ちゃんとの再会。



福山市立春日小学校  
3年 宇田 百花  
家族で見た花火が  
きれいで楽しかった。



尾道市立御調西小学校  
3年 佐藤 成将  
水が流れる様子を、  
色を重ねて表現している。



広島市立己斐東小学校  
5年 久保 惟生  
おうちで楽しく  
親子のピアノ・アンサンブル



広島県立広島中学校 3年  
餅川 芭奈  
カメラの中の私たちを  
懐かしんで描いた。

協賛：広島ロータリークラブ、広島南ロータリークラブ、広島東ロータリークラブ、広島東南ロータリークラブ、広島北ロータリークラブ、広島西ロータリークラブ、広島中央ロータリークラブ、広島西南ロータリークラブ、広島陵北ロータリークラブ、広島安芸ロータリークラブ、広島城南ロータリークラブ、広島廿日市ロータリークラブ、広島安佐ロータリークラブ

# 「少年の主張」・中学生話し方大会 2022

第44回少年の主張広島県大会

第56回中学生話し方広島大会



広島県立広島中学校 2年 なかしま ちなつ 中島 千夏さん



広島県大会の出場者の皆さん

令和4年9月3日(土)、広島県社会福祉会館において、「少年の主張」・中学生話し方大会2022(第44回「少年の主張」広島県大会、第56回中学生話し方広島大会)を広島県中学校話し方連盟と共催で開催しました。

今大会には、県内中学校の45校から2,756編の応募があり、その中から原稿審査を通過した基準を含む16人が、それぞれの主張を力強く発表しました。

発表内容としては社会的な現実、平和、コロナなどの社会現象や自然災害の中から自分の体験を通した素直な意見や、自分の弱さや失敗をストレートに表現された発表もあり、非常に好感がもてました。

態度はしっかりと、明るく、とても良い発表ができていました。

ここに、広島県知事賞を受賞した広島県立広島中学校2年中島 千夏さんの意見発表を掲載します。

## 受賞者一覧

受賞名	中学校名	氏名	題名
広島県知事賞	広島県立広島中学校 2年	<small>なかしま ちなつ</small> 中島 千夏	平和な世界を……
公益社団法人青少年育成広島県民会議会長賞	東広島市立高屋中学校 3年	<small>すえおか いぶき</small> 未岡 依路	命の輝き
広島県中学校話し方連盟会長賞	尾道市立高西中学校 2年	<small>すぎはら いおり</small> 杉原 伊織	まっすぐに、一生懸命に
国際ソロプチミスト広島会長賞	広島市立城南中学校 3年	<small>なかしま くるみ</small> 中嶋 胡桃	繰り返す歴史の中で
広島清流ライオンズクラブ会長賞	竹原市立賀茂川中学校 3年	<small>おち みやび</small> 越智 雅	自分を見つめる
優秀賞	山陽女学園中等部 3年	<small>たにおか めい</small> 谷岡 芽依	大雨とコロナで改めて感じた仲間存在
優秀賞	坂町立坂中学校 3年	<small>おりて</small> 折出ひより	幸せのつくり方
優秀賞	尾道市立御調中学校 3年	<small>とさ みゆ</small> 土佐 心優	小さなことでも
優良賞	三次市立布野中学校 2年	<small>ふじわら ただし</small> 藤原 正	職場体験学習で学んだこと
優良賞	尾道市立栗原中学校 1年	<small>ゆきの</small> 榎本 雪乃	ありがとう、プロジェクトメンバー
優良賞	広島市立日浦中学校 2年	<small>くわやま のどか</small> 桑山 和花	よりよい校則をつくるために
優良賞	庄原市立口和中学校 2年	<small>ながたに ひろき</small> 長谷 祐規	正直に生きて
優良賞	大崎上島町立大崎上島中学校 3年	<small>こんどう あいか</small> 近藤 愛花	気付かせてくれた言葉
優良賞	広島市立三入中学校 2年	<small>うえはら ひろむ</small> 上原 弘夢	フライングの先へ
優良賞	広島市立瀬野川中学校 3年	<small>たにむら さくら</small> 谷村 咲蕾	まず、「心の防具」さらに…
基準特別賞	広島市立可部中学校 1年	<small>みうら さわ</small> 三浦 佐和	力のおすそわけ

広島県知事賞 少年の主張全国大会 国立青少年教育振興機構 奨励賞

## 平和な世界を……

広島県立広島中学校 2年 <sup>なかしま</sup>中島 <sup>ちなつ</sup>千夏さん

崩れた家屋。煙を上げる民家。助けを求める人々。

今、ウクライナではロシアとウクライナが戦争をしています。私は、これまで生きてきた中で、「戦争」を身近に感じることはありませんでした。

しかし、北京冬季オリンピックの後から、ニュースや新聞では「ウクライナ」という5文字を見ない日はなく、ウクライナの街の衝撃的な映像が私の目に飛び込んできます。

そんなある日、いつものように夕食を食べていると、

「今日ね、ウクライナで5,000人くらい亡くなったらしいよ。」

母の言葉に箸が止まりました。

「もう食糧がなくなってきとるけん、餓死なんだって。」

「が、餓死?」

「餓死」という言葉に、私は耳を疑いました。私の目の前の夕食は焼きそば、味噌汁と白米。デザートには真っ赤な苺。ウクライナの子どもたちは、私のように笑顔で食卓につくことができないのです。今の時代に餓死なんてあり得ない。戦争に全く関係のない住民がなぜ、こんな目に遭うのでしょうか。胸が詰まります。

なぜ、戦争をするのだろう。理由がどうであっても戦争はあってはならない。映像を見る度に、強い怒りがこみ上げてきます。私はもちろん戦争に反対です。ずっと平和な世の中であってほしいと強く強く願っています。その理由は、今私がこの世界に生きているからです。

母の母の母、つまり私の曾祖母は広島で被爆したと母が教えてくれました。ものすごい爆風で、家が吹き飛んでいったそうです。幸い、曾祖母は地下に入っていたので、無事でした。原爆投下後は、がれきの中にある瓶や鉄などを拾って生活する、本当に苦しいものだったそうです。曾祖母は、そのときのことをあまり家族にも話しませんでした。きっと、つらくて悲しくて、思い出したくもなかったのでしょう。どれだけ傷つき、そしてどれだけ必死に生き抜いてきたのかは、私には想像が付きません。曾祖母が生き抜いていなければ、私はこの世界に生まれていなかったかもしれません。その私は、長崎に原爆が投下された、8月9日午前11時2分に生まれました。何か、運命的なものを感じています。だからこそ、曾祖母からつながるこの私の命を大切に思い、ありがたく感じ、毎日生活しています。

私は、まだ14歳。無力な中学生です。「どうすれば、ロシアやウクライナの人々を救えるのだろう。どうすれば世界中の人々が笑顔で暮らせるのだろう。」と日々考えています。

今の私が、どうすれば世界のためになることができるのでしょうか。けんかはしないとか、友達を大切にすることは、当たり前のことです。私は、過去の戦争について学び、自分の思いを文字に起こし表現すること、そして「戦争はいけない」と友達、学校、地域の人々に、自分の思いを発信し未来につなげることが大切だと考えています。世界平和を願い、自分自身の考えをしっかりと磨き、「戦争はいけない」というこの思いを周りの人に届けることから始めるのです。小さな一歩かもしれませんが。しかし私は、今ここに生かされている命を大切にしながら、確実に自分にできることを行動に移していこうと思っています。さらには、もっと広く発信できる力を付けたいと考えています。

街を歩くと、新緑の木々が揺れています。ピースサインをして自撮りをする学生たちに出会います。ピースサインは、昔は「戦争」という意味があったそうです。でも今は、ピースは平和のシンボルです。世界中の人々が心から笑ってピースサインができる日が早く訪れますように。いつかは平和な世界が訪れると信じて、私は前を向き、自分の一歩を踏み出します。

主催：(公社)青少年育成広島県民会議、広島県中学校話し方連盟、独立行政法人国立青少年教育振興機構  
協賛：国際ソロブチミスト広島、広島清流ライオンズクラブ、(公財)広島青少年文化センター

## 第二弾



地域に伝わる「食」をみんなで味わいながら、そのおいしさを育んだ地域の歴史も学び、子どもたちの生きる力を伸ばすとともに、次の時代へ伝統文化を継承していこうというプロジェクトです。令和3年度から5年計画で進めています。

協賛:広島県遊技業防犯協会連合会

後援:青少年育成三次市民会議

昨年度の第一弾「廿日市桶ずし」に続き、今年度は第二弾として「三次に伝わる郷土のおやつ」をテーマに、「おばあちゃんのかしわ餅づくり」及び「焼き米のおはぎづくり」を実施しました！！

## おばあちゃんのかしわ餅づくり

日時: 令和4年8月28日(日) 12:30~16:30

場所: ほしはら山のがっこう(三次市上田町388)



ナビゲーター  
平山 友美さん



現地ナビゲーター  
浦田 愛さん



青空のもと、散策スタート!  
案内役は浦田さん  
(NPO法人ほしはら山のがっこう副理事長)



さあ、どれが「サルトリイバラ」かなあ〜  
興味深々です。



「サルトリイバラ」の  
葉をたくさん摘みました!  
緑が輝きます。



学校に戻って、かしわ餅作りのスタート  
です! 川西地区のお母さんたちにご協力  
いただきました。



**生地を広げまわりから寄せるように、あんこを包みます。**



**摘んできたばかりの葉で包みます。**



**野草茶も作りました！  
こうばしい香りが漂います。**



**葉っぱのお皿にできたでの  
とろけるようなかしわ餅！  
この柔らかさが伝わりますか～**

地元のお母さんたちが先生役になって、子どもたちに丁寧に教えてくださいました。摘んできた葉っぱのお皿で新鮮な葉っぱに包まれた蒸し立てのかしわ餅を試食する……なんて、贅沢な時間だったことでしょう。「ご馳走」とは、誰かをもてなすために、あちこちに食材を探しに走ったというところからきているそうです。みんなが集うとき日のために、山に入って葉を摘み、身近で手に入る材料で作るかき餅。今回作ったかしわ餅がものすごい「ご馳走」だったということに気づいてくれた子どもたちが、これからも郷土のおやつとして、食べ継いでくれることを願いました。  
(ナビゲーター 平山友美)



# 焼き米のおはぎづくり

日時：令和4年12月3日(土) 13:00~14:30

場所：ZOOMによるオンライン開催

ナビゲーター：平山 友美さん 浦田 愛さん

焼き米とは、三次市の川西地区周辺に伝わる保存食。小さな巾着袋に入れ、小腹が空いたときに食べるおやつのような存在でもあったようです。戦国時代には、武士が携帯したともいわれています。Zoomを使ったオンライン開催を試みました。参加者のところには、あらかじめ焼き米を送付し、開始後すぐに一緒に焼き米おはぎづくりが楽しめるようにしました。



クイズ形式にして焼き米の説明からスタート



焼き米がどうやって作られるのか、収穫や加工の様子を動画で見てもらいました。



いよいよ、おはぎづくりスタート。焼き米に湯をかけて蒸らします。しばらく置いて、焼き米が湯を吸ってふくらんだ感じになったら、麺棒などでつきます。すると、お餅のようになるのです。手にくっつくので、子どもたちは大騒ぎ。画面越しに、楽しそうな声が聞こえてきました。

最後は、自分で作った焼き米のおはぎと一緒にパシャリ。記念撮影!



## おばあちゃんのかしわ餅づくりのレシピ!



### 【材料】 10 個分

サルトリイバラの葉 20 枚  
(8,5 ~ 11cm くらい)  
もち粉 . . . . . 200g  
熱湯 . . . . . 200ml  
あんこ . . . . . 200g  
(20g ずつの玉にする)  
砂糖水 (手水用: ぬるま湯  
200ml に砂糖大さじ 1)

- 1 もち粉に熱湯を分量の 8 割  
入れ、箸か木べらで手早く  
混ぜます。残りの熱湯は様  
子を見ながら加え、耳たふ  
くらいのやわらかさにしま  
す。  
(あまりこねないほうが仕  
上がりやわらかくなります)
- 2 砂糖水を手水にして、1 を  
41 ~ 42g ずつに丸めたら、  
広げてあんこを包み、サルト  
リイバラの葉 2 枚ではさ  
みます。
- 3 蒸し器で 12 ~ 13 分くらい  
蒸したら、出来上がり。



## 焼き米のおはぎづくりのレシピ!



### 【材料】 15 個分

焼き米 . . . . . 300g  
熱湯 . . . . . 300cc  
市販のあんこ . . . . . 180g  
  
いろいろどりの衣 . . . 各適量  
・きなこ・青のり・黒ゴマ  
・白ごま・ココア・青きなこ  
・かぼちゃパウダー  
・紫芋パウダー etc...

- 1 焼き米を入れた器に沸騰した熱湯をひたひたに入れ、よく混ぜたらふたをして芯がやわらかくなるまで蒸らします。
- 2 めん棒で 1 をついて、半殺し (半分くらいのごはんがつぶれた状態) にします。
- 3 2 の焼き米とあんこを 15 等分に  
し、丸めておきます。塩水 (分量外) を手につけながら、2 であんこを包み、衣をまぶしたら、出来上がり。



三次市川西地区のお母さんたち、地元のコーディネートをお願いした浦田さん、ご協力ありがとうございました。

かしわ餅づくりや焼き米のおはぎづくりを育んだ風土や作り方の詳細はこちらから



# いきいき地域活動紹介

市町民会議は県民運動を推進する組織です。県内各地の特性を生かした特色ある活動を行っています。令和4年度もコロナ禍で思うような活動ができていない状況があります。今回は、コロナと向き合う中で活動した二つの市町民会議を紹介します。

## 青少年育成尾道市民会議

青少年育成尾道市民会議は、市内の各種団体の多くの方々のご支援・ご協力をいただき、青少年の健全な育成を図ることを目的に、尾道市青少年センターを拠点に活動を行っています。

青少年育成尾道市民会議は、青少年の健全な育成を図っていくために、お互いに学習し合い、より効果的な実践活動を推進することを目的として、尾道市と共催で「尾道市青少年健全育成大会」を毎年秋、開催しています。

大会では、まず初めに、市内各地域の補導活動や子どもの登下校の見守り活動、地域の子どものスポーツの審判員や子ども教室の指導員など、これまで青少年の健全育成に特に功績のある個人を「青少年健全育成功労者」として、また、青少年が非行に走らないよう見守り、健全な環境づくりに務めるなど「少年を守る店」として顕著な功績があった店舗を「少年を守る店」優良店として、それぞれ称え、より一層の充実、発展を図ることを目標として表彰しました。

次に、青少年の願いや意見をくみとり、社会へ反映させる観点で青少年健全育成作文を、また、発達・普及していく電子メディアを上手に使う目的で「電子メディアとの付き合い方」という題で標語を、それぞれ小中学生から募集し、その中から選ばれた各入賞者の表彰を行いました。

各種表彰後、青少年健全育成作文の最優秀賞の発表が行われました。作文は、受賞者本人により発表され、自分たちの住む地域のこと、自分の家族や将来の夢、社会問題や現在の世界情勢など、幅広い分野がテーマに取り上げられていました。

最後のアトラクションでは、広島県無形文化財である「吉和太鼓踊り」をモチーフとした「吉中太鼓」の演奏が尾道市立吉和中学校3年生のメンバーにより披露されました。「吉中太鼓」は地域ぐるみで、子どもたちを守り育てる健全育成の一環として、取り組まれてきました。コロナの中で練習や発表の機会が制限されましたが、練習の成果を発揮した力強い演奏で大会を締めくくりました。

大会の開催には多くの団体や個人の方々には様々な場面でご協力いただき、本当に感謝しています。

青少年育成尾道市民会議では、新型コロナウイルス感染防止に配慮するとともに、その収束を願いながら、今後も次代を担う青少年の健全育成に取り組んでいきたいと思えます。



各種表彰



作文発表



アトラクション (吉中太鼓)

## 青少年育成安芸太田町民会議

青少年育成安芸太田町民会議は、町内各種団体の協力を得て、青少年の安全かつ健やかな育成を図ることを目的に様々な活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまで行ってきた活動が思うようにできない状況が続いていますが、最近の主な活動について紹介します。

### 【立志式】

平成21年度から町内中学2年生を対象に毎年「立志式」を開催しています。立志式は「生徒自らが自立心をもって生きることを促し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成を図ること」を目的に実施しています。式典では、各学校の生徒代表が将来の抱負について、決意表明をし、講演会では、各方面で活躍している町関係者を中心にお招きし、お話をいただいています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期の変更やリモートでの実施をしていましたが、令和3年度は対面で立志式を行うことができました。

### 【愛ネットワーク安芸太田会議】

この「愛ネットワーク安芸太田会議」とは、青少年の健やかな成長を願い、学校・家庭・地域及び町内の各種団体が連携して取組みを進めていくため、青少年を取り巻く環境、課題そして具体的な実践等について、各団体関係者が集い情報を交換することを目的に、旧青少年育成加計町民会議時代にスタートしました。

このような活動が始まった背景には、①社会の急激な変化の中で、家庭や地域の教育力の低下や社会全体の規範意識の低下、②子どもが被害にあう犯罪、また子どもが犯罪に関わる事件の増加がありました。

「地域の子どもたちを、地域でいかに守っていくか」という思いのもと、各団体へ呼びかけし賛同を得た団体が集い、情報交換・共有場として現在も、青少年育成安芸太田町民会議で活動を継続しています。

なお、令和4年度は町内小中学校及び高校からの現状報告、教育委員会、山県警察署からそれぞれの情報提供後、全体の意見交換を行いました。

### 【あいさつ・声かけ運動】

青少年の健全育成に係る意識の高揚、「あいさつ・声かけ運動」の広範な展開を図るため、バナーボードを各事業所の協力のもと設置しています。今までのバナースタンドの経年劣化より、新しくバナーボードを作製しました。

### 【ゲームハイキング】

町内の自然・文化・歴史を訪ねながら、「地域を知る」、「郷土に誇りを持ち、郷土を愛する心を育む」ことを目的にゲームハイキングを開催しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ここ2年間は開催できていませんでしたが、今年度は3月に開催する予定です。

### 【各種事業の支援】

防犯連合会主催による「山県防犯少年野球・ソフトボール大会」の助成やスポーツクラブ主催の大会の後援、また、町子ども連合会主催の「チャレンジコンクール」を子どもたちが学ぶ意欲とチャレンジする気持ちを育む目的として共催しています。



【立志式】



【バナースタンド】



【ゲームハイキング】

# 青少年育成カレッジ「総合講座」

公益社団法人青少年育成広島県民会議では、広島県公立大学法人県立広島大学と連携して、「青少年育成カレッジ」を開講しております。青少年の心と健康、行動などを理解し、すこやかに育むための知識や手法を学び、「わかりやすい」と受講者からは好評です。今年度は「子どものこころを育むコミュニケーションを磨く」をテーマに、第1回は「多様な子どもに寄り添うコミュニケーションのヒント」について、第2回は「こころに栄養を与えよう～コミュニケーション技術のコツ～」について開講しました。

## 第1回

令和4年10月22日(土)

### 「多様な子どもに寄り添うコミュニケーションのヒント」

よねくら ゆきこ  
米倉 裕希子 さん 県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース 准教授



#### ■ 講義 I 【多様な子どもに寄り添うコミュニケーションのヒント】

多様な子どもの特性を知ること、子どもの不思議で時に困ったと感じる行動を紐解いてみました。言葉だけではないさまざまな方法で伝えようコミュニケーションのヒントを学びました。

#### ■ 講義 II 【多様な子どもに寄り添うコミュニケーションのトビラ】

すべての子どもはほめられると嬉しいです。「ほめる」とは子どもの行動をよく見て、良い行動を認めるということです。「ほめる」コツを学び、ほめ上手になりましょう。



## 第2回

令和4年11月5日(土)

### 「こころに栄養を与えよう～コミュニケーション技術のコツ～」

いのうえ まこと  
井上 誠 さん  
県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科看護学コース 准教授

あそ う こうじ  
麻生 浩司 さん  
県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科看護学コース

まみょう やすひろ  
馬明 康弘 さん 瀬野川病院 病棟課長 精神科認定看護師



#### ■ 講義 I 【青少年へのモチベーションの高め方とコミュニケーション術】



他者からかけてもらった言葉で嬉しくなったことはありませんか。伝え方や関わり方の視点を少し工夫すれば、コミュニケーションをとることが楽しみになるかもしれません。午前の講座では、コミュニケーションによるストレスから考え、こころの機能と構造などの心理的側面、こころが元気になるコミュニケーション技術について講義を行いました。

#### ■ 講義 II 【コミュニケーション・ストレスについて共有し考えよう】

他者からかけてもらった言葉で嬉しくなったことはありませんか。伝え方や関わり方の視点を少し工夫すれば、コミュニケーションをとることが楽しみになるかもしれません。また、コミュニケーションから感じるストレスなどについても共有したいと思います。午後の講座では、普段のコミュニケーションを振り返りながら、こころが元気になるコミュニケーションについてラベルワークにて共有をしました。



## 「認証状」授与式

青少年育成カレッジでは、所定の20単位(1講座1単位)を修得された方に、学習したことを評価して「認証状」を発行しています。

これまでに88名の方が修得されており、令和4年度は新たに3名の方が修得されました。



(敬称略)



# 子どもの心を育む コミュニケーションを磨く

よねくら ゆきこ  
米倉 裕希子 さん

県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース 准教授

## はじめに

子どもは時に私達には不思議で困った行動をとることがあります。講座では、子どもの不思議を紐解くヒントとして、午前中の講座では自閉スペクトラム症、注意欠如多動性障害、限局性学習障害の3つの特性について主に体験を通して、午後からはすべてに共通するコミュニケーションのトビラとして、「ほめる」コツについて演習を通して学びました。

## 多様な子どもに寄り添うコミュニケーションのヒント

自閉スペクトラム障害の特性は、①相互的な社会関係とコミュニケーションのパターンにおける質的障害、②限局した情動的で反復的な関心と活動の幅によって特徴づけられる、③想像性の欠如とそれにもとづく行動の障害の3つに加え、最近の研究で④感覚の過敏さまたは鈍感さであることがわかってきました。一般的に、社会性やコミュニケーションの障害ととらえられています。私も人見知りでコミュニケーションが苦手だと感じることがあります。私たちと自閉スペクトラム症のコミュニケーションの質的な違いとはどのようにちがうのでしょうか。街の中で徐々に、知り合いに会った時、「久しぶり!元気だった?」と話しかけられたらどのように返事しますか。恥ずかしそうにしながらも「元気です」と答えるでしょう。私が出会った自閉スペクトラム症のAさんは「はい、4年と8か月風邪をひいていません」と答えました。「元気」=「風邪をひいていない状態」という図式がAさんの中にあるのでしょうか。このように言葉通りに受け止めてしまい、言葉の裏側にある「懐かしい」「徐々に会えて嬉しい」という意味には気づかないので、ちぐはぐな会話になります。

さて、「コミュニケーション」とはどのようなことでしょうか。よくキャッチボールに例えられますが、言語や表情しぐさなどの非言語のボールを受け取って、どのような意味かを理解し、投げ返す、この一連の流れがコミュニケーションです。つまり、コミュニケーションの障害とは相手がいって初めて成り立つ困難性です。では、どうすればいいか。相手を取りやすいボールを投げる、相手の変化球を上手にうけとめる、そうすればキャッチボールは続きますよね。

そこで、演習では非言語のコミュニケーションの1つである表情のトレーニングを行いました。言葉だけではなく、メリハリのあるわかりやすい表情を加えることで相手に伝わりやすくなりますね。講座では「笑い顔」や「困った顔」、「嫌いなものを食べたとき」など百面相の表情に挑戦していただきました。また、できるだけ言葉だけではなく、目で見てわかる「視覚的に伝える」工夫

にも取り組んでいただきました。その他、注意欠陥多動性障害や限局性学習障害の「困難さ」の体験を通して、困難さを理解されないつらさについても考えていただきました。

## 多様な子どもに寄り添うコミュニケーションのトビラ

心理学でいう「ほめる」とは、「賞賛」することだけではなく、子どもの行動をよく見て、好ましい行動に着目することです。スキナーのネズミの実験を知っていますか。スキナーはベルがなったときにレバーを押したら餌が出てくる装置を作りました。ネズミはベルが鳴るときレバーを押すと餌が出ることを学習し、レバーを押すという行動が増加しました。この実験から、行動は、「事前の出来事（先行刺激）」→「行動」→「事後の結果」の3つの流れがあり、行動した結果にメリットがあると行動が増える、行動の変化には事後の出来事が影響することがわかりました。当たり前ですよね。子どもにとってはおやつや褒美シールやスタンプがメリットになることもありますし、「大人の注目」、つまりほめることが大きなメリットになります。おやつや褒美は準備しておかなければなりませんが、ほめ言葉はすぐにポケットから出せますね。注意しなければならないのは、子どもにとっては「大人の関心」がメリットなので、好ましい行動で大人の注目を得られない場合、好ましくない行動をして叱られたり注意されたりすることで大人の注目を得ようとすることがあります。やめさせようと思って注意したことがかえって子どもの行動を強化、つまり増やしてしまうことがあります。

ほめるポイントは、「行動」に注目することなので、具体的に行動をほめることが大切です。また、注目がメリットなので、「すごい!」とか「えらいね!」などおおげさにいわなくても、「椅子に座っているね」など、行動を実況中継風に言葉にするだけで、子どもは自分を認めてくれていると感ずることが出来ます。また、ついつい私たちは、いつもと違うことや人より優れているスペシヤルなことに対してほめようとしがちですが、大切なのはいつもできている当たり前のことに注目することです。さらに、最後まで何の手助けもなくやりとげたときにほめようとします。でも、最後までできなくても、し始めたとき、している途中にも、「お、やる気だね!」「ここまでできてるね」と注目し、はげましたり、ヒントを出すことも大切です。そして、賞賛だけではなく、「ありがとう」「うれしい」といった感謝を伝えることもほめることに含まれます。ついつい言いがちな「次も頑張ってるね」「次はヒントをいわなくても自分でやってね」は嫌味になるのでNGワードです。

講座では、洗濯や洗い物をしているイラストの行動に対して、具体的なほめ言葉を考え発表してもらいました。また、「廊下を走っちゃダメ!」や「おもちゃを投げちゃダメ!」という否定形の言葉ではなく、「廊下は歩こうね!」や「おもちゃをここに置いてね!」など好ましい行動のヒントになる肯定的な言葉がけを考えてもらいました。

## おわりに

講座では「家族や同僚の行動を具体的にほめる」という宿題を出しました。ほめるということは相手に肯定的な関心を示すことです。言葉や表情でぜひ伝えてみてください。



# こころに栄養を与えよう ～コミュニケーション技術のコツ～

いのうえ まこと  
井上 誠 さん

県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科看護学コース 准教授

午前中は、「青少年へのモチベーションの高め方とコミュニケーション術」というテーマにて講義をさせていただきました。

さまざまな問題を抱えながら生活している青少年がいます。ネット依存やコミュニケーション能力、人間関係力の低下、いじめ、不登校や引きこもりなどあげればきりがありません。

今回参加された方が今すぐにでも実践できることを講義させていただきました。

その内容について振り返ってみたいと思います。

## 笑顔の大切さについて

笑顔はコミュニケーションの中において大切なことだと言われています。どのように話し上手だと思っけていても、笑顔がなければ人間関係はうまくいかないと私自身、感じています。それほど笑顔は私たちが思っている以上に言葉を助ける力があると思われます。

しかし、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のために、多くの地域で休校措置が続きました。私は小学生の保護者として、さまざまな不安を感じていました。「友人関係は大丈夫かな」「学習習慣を取り戻せるか」「生活リズムが取り戻せるか」「休校期間中の課題の理解が十分にできないのではないかな」などなど、多くの保護者が強い不安を抱えていたのではないのでしょうか。現在も、新型コロナウイルス感染の影響によって、学校内でマスク着用のため、友達との会話でも表情が読み取れないこと、楽しい昼食時も「黙食をしなさい」など、食事中笑い声がない状況もあります。だから、今回はあえて笑顔について初めに皆様と考えることにしました。

笑顔でニコニコの効果は以下のようなものがあります。(一例です)

笑うと脳の活性化に繋がり、記憶力がアップされると言われ、「笑い」によって脳波のなかでもアルファ波が増えて脳がリラックスできると言われています。意志や理性をつかさどる大脳新皮質に流れる血液量が増加し、脳の働きが活発になると言われています。

笑顔の表情だけでも、脳内において「セロトニン」などの脳内麻薬物質・幸せホルモンが多く分泌されるそうです。

このような効果をうまく活用していくことは自分にとっても、青少年にとっても良い効果をもたらすことができる鍵になると思います。青少年だけでなく、どの世代でも良い効果をもたらす助けになります。

コミュニケーションをとる際、「相手が笑顔なし」と「笑顔あり」ではどう感じるでしょうか？相手が無表情でパーソナルゾーンに近づいてくると威圧的で警戒心をもちませんか。

ですが……相手が笑顔ならば、パーソナルゾーンに近づいてきても安心感がもてますね。

「あくび」はよく伝染すると言われていますが、これは、ミラーニューロンという神経伝達物質によるもので、他人の行動や感情を、自分の事のように感じるのがその理由です。

スマイルパンデミック、笑顔の伝染はその周囲にいる人間にも良い効果をもたらします。

笑顔は大切と言ってきましたが、対人関係の潤滑油になります。ずっと笑顔をかかせるだけでは、それはそれでストレスになります。時には、顔になんの仕事もさせずボンヤリするオフ日も大切ですね。

1. 重要なのは笑顔が多いかではない
2. 笑顔の キャッチボール ができているかが大切
3. むやみに笑っていればいいのではなく、笑顔のタイミングが噛み合っているか

## 青少年へのモチベーションの高め方

モチベーションとは、行動を起こす時の原動力となるものと言われています。やる気とか意欲などの言葉がそれに当てはまります。

モチベーションは何かを達成するための行動を、「やりたい」「頑張ろう」「やるぞ」「合格したい」などという心理が働いて感情が高まった結果、行動につながります。

学生をみていると、何がモチベーションになるのかは、個々によって違っていることがよくわかります。同じことを言っても、ポジティブにとらえてモチベーションになる人がいれば、ネガティブにとらえてモチベーションになる学生もいます。だから、日ごろ、学生に声をかけて、その学生のことを知っておくことが大切になります。モチベーションは学生個人の性格や考え方、生まれ育ってきた背景や体験に基づいているものだと言われています。

モチベーションをキープすることが難しいのは、モチベーションが感情の1つだからと言われています。その時の体調や環境など、ちょっとしたことに左右されるようです。

周囲の影響を受けやすいモチベーションですが、しっかりした目標が大切になってきます。

少しずつ目標に向かっていくのがよいか、大きく目標を立てたほうがよいか、コミュニケーションをしっかりとることが大切になるかと思います。

モチベーションがわいてくるゴールを設定して、スモールステップでゴールを目指すことが大切だと思います。余りに簡単な目標ではモチベーションが下がることもあり、あまりにも大きな目標では、達成までのモチベーションが維持できなくなります。その学生にとって、心地よい目標はどこなのか、一緒に考えていくことが大切だと思っています。

今回の講義では、スモールステップで目標を立てましょうというお話をしましたが、これは、アメリカの心理学者、バラス・スキナーさんが提唱したものです。ゴールまでの距離があまりにも遠いと、何かちょっとしたことがあれば、挫折しやすくなるから、モチベーションを維持しながら、目標を確実に達成させるためには、目標をできるだけ小さく設定することが大切だと言われています。

ちょっとしたコミュニケーション、たわいもない話が青少年と関わる我々には大切になってくるのでしょね。

## その他以下の話をさせていただきました。

「コミュニケーションは元気に挨拶、笑顔は大切」「第一印象の影響(初頭効果)について」「顔を合わせる回数について」「コミュニケーション ミラーリング効果について」「同情する心理(アンダードッグ効果)について」「声の調子や話し方、使う言葉を相手に合わせましょう」「自分の表情やジェスチャー、態度を意識について」「声かけの工夫について、明るいやさつプラスαの声かけについて」「返報性(へんぼうせい)の法則について」など。

午後からの講義は、県立広島大学精神科領域教員麻生浩司先生、瀬野川病院看護師、馬明康弘さんと、会場の皆さんと一緒に自己について、青少年の接し方について、など、考えていきました。

## まとめ

精神科看護師・教員として最近思うことは、現在なにかしらの精神科領域での病気にて、医療機関に受診されている方は300万人を超えているそうです。うつ病や認知症、適応障害や依存症やひきこもりなど増えており、精神保健医療福祉の改革において、入院医療中心から地域生活中心へかわりつつあります。地域で暮らしてもらおう事を国全体、地域住民全体でしっかり応援していけたらいいなといつも感じています。そのためにも、元気が一番!笑顔が一番!身体に、精神状態に気をつけながら自分のペースで頑張っていきましょう。

# 青少年サポーター事業

広島県と広島県議会の共催で、次代を担う子供たちが県政に対する意見や提言を表明できる機会を通して県の魅力や課題に関心を持つとともに、県議会の役割や仕組みを知り、議会制民主主義や地方自治への理解を深め、主体性と社会参画意識を高めることを目的とした「広島県子供議会」を開催するにあたり、サポーターとして大学生を募集し、子供議員の活動を支援しました。

## ■ 広島県子供議会の活動

子供議員は35人（小学生21人、中学生14人）で次のプログラムを実施し、8人のサポーターがこれを支援しました。

プログラム	内 容	活 動 日	場 所
勉強会①	◆子供議会で発表する質問や提案の作成 (グループで意見交換⇒質問や提案作成)	7月30日(土) 12:30~16:00	県立総合体育館
勉強会②	◆議場でのリハーサル	9月10日(土) 13:00~16:00	県議会議事堂
子供議会	◆議場において質問や提案発表 【出席者】議長、副議長、議員、知事、副知事、教育長、警察本部長、担当局長 当日の午前中に任命式、県議会議員との交流会を実施 ・子供議会の様子はインターネットで配信中 <a href="https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gikai/0410kodomogikai.html">https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gikai/0410kodomogikai.html</a>	10月23日(日) 13:00~15:00	県議会議事堂



子供議員の活動支援の様子



子供議会当日の様子



毎月17日

青少年の日

毎月第3日曜日

家庭の日

7月1日～7月31日

青少年の非行・被害防止  
全国強調月間

11月1日～11月30日

子供・若者育成支援推進  
強調月間

## 青少年育成広島県民会議とは…

青少年育成県民運動の推進母体として、昭和41年の設立以来、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的にさまざまな事業を行ってきました。

昨今の複雑多様化した青少年をめぐる問題に、国、県、市町の行政や青少年団体など関係機関と連携し、県民総ぐるみの育成運動として取り組んでいます。あいさつ・声かけ運動、少年の主張、いただきます!ぶちうま継承プロジェクト事業、青少年育成カレッジなど幅広い内容です。平成23年度に公益社団法人に移行しました。

### 〈概要〉

設立 昭和41年12月7日  
法人格取得 平成2年10月21日  
認定日 平成23年3月22日  
育成積立金 5億円(平成3年度設置)  
会長 神出亨(元株式会社中電工相談役)

## Information

### 会員加入のお願い

私たちがそうであったように子どもたちはやがて大人になっていきます。青少年が夢を持ち、健やかに成長し、自分が育った地域を愛し、社会を構成していくことは私たち全ての願いです。そのための活動を県民運動として取り組んでいます。

県民の皆様方に会員になっていただき、この活動へのご支援をお願いしております。活動の内容は、機関紙「せとのあさ」やホームページをご覧ください。

<http://www.hiro-payd.or.jp>

#### ■正会員

(年額)	個人	3,000円
	団体	5,000円

#### ■賛助会員

(年額一口)	個人	1,000円
	団体	10,000円

- 何口でも結構です。
- 機関紙「せとのあさ」等をお送りします。
- 会費の納入方法などは、事務局までお問い合わせください。

銀行  
振込先

広島銀行県庁支店

口座番号 / (普通) 233251

口座名義 / (公社) 青少年育成広島県民会議



「ゆっぴー」は、府中町の小学生が太陽とライオンをモデルに、“元気に明るく育つ青少年”をイメージしてデザインしました。

広島県の青少年のマスコット  
ゆっぴー



広島県の青少年のマスコット  
ゆっぴー

せとのあさ ー第155号ー

令和5年2月発行

公益社団法人 青少年育成広島県民会議

〒730-8511 広島市中区基町10-52

広島県環境県民局県民活動課内

TEL.082-513-2742 FAX.082-511-2173

<http://www.hiro-payd.or.jp>



題字／茶道 上田宗箇流  
第十六代家元 上田宗冨